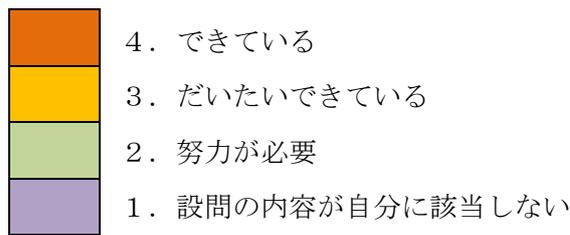


みらい園「2025年度 自己評価に関するアンケート」集計結果

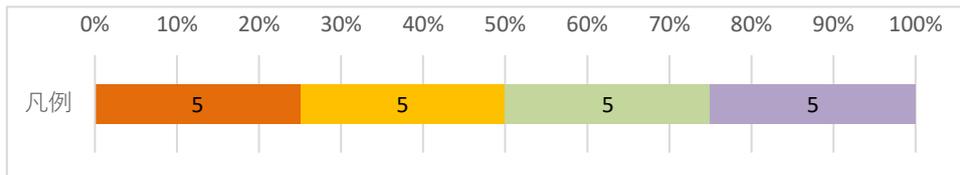
本年度も、以下の5項目および自由記述欄から構成される教職員アンケートを実施した。

- I 園の教育保育理念・基本方針に関して（1～5）
- II 子どもの保育に関して（1～13）
- III 保護者への対応に関して（1～9）
- IV 同僚・上司とのコミュニケーション等に関して（1～6）
- V 能力向上の努力に関して（1～8）

それぞれの設問については、次の評点を選択する形で回答を求めた。



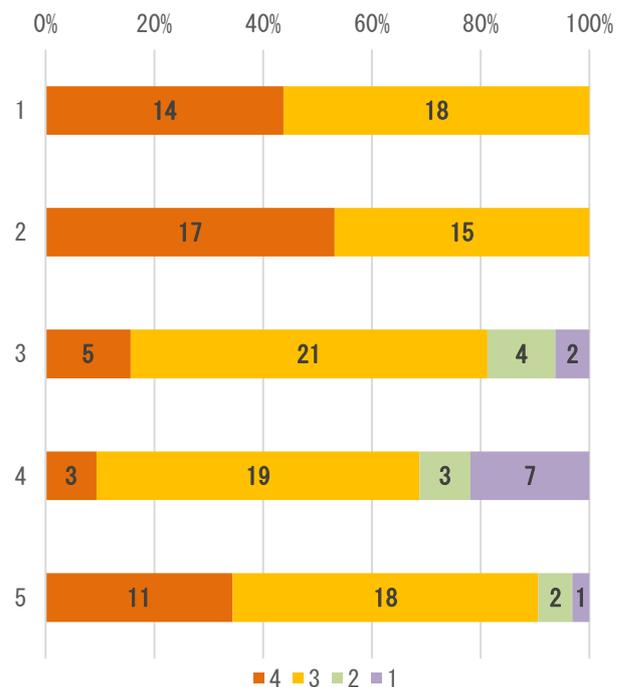
集計グラフ（グラフ内数字は各評点を選択した人数）



2025年12月下旬から2026年1月上旬にかけて、Microsoft Formsを用いてオンラインで本アンケートを実施した。該当教職員数は32名。回収率は100%である。集計は園長が行った。

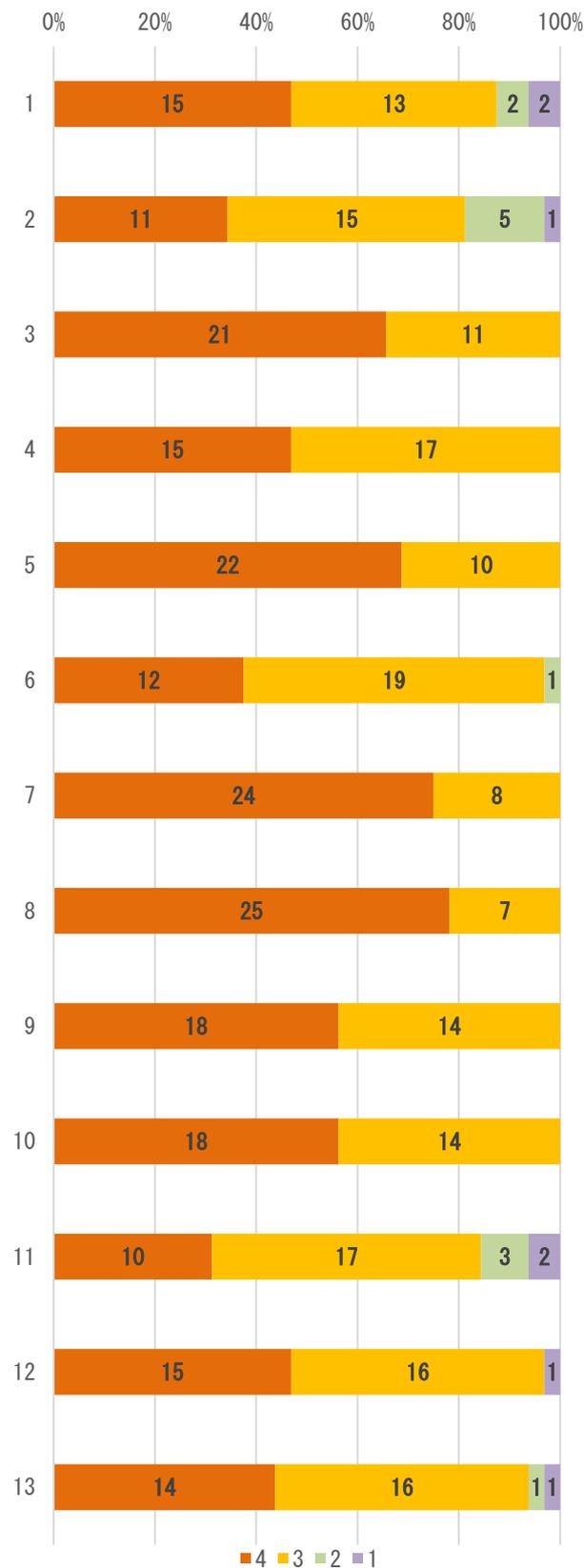
I 園の教育保育理念・基本方針に関して

①園の教育保育理念を理解している。
②園の教育保育三つの柱を理解している。
③園の今年度教育保育の努力目標を理解している。
④自分が担当する年齢の年間指導計画を理解している。
⑤園が目指す幼児の姿を自分なりにイメージできる。



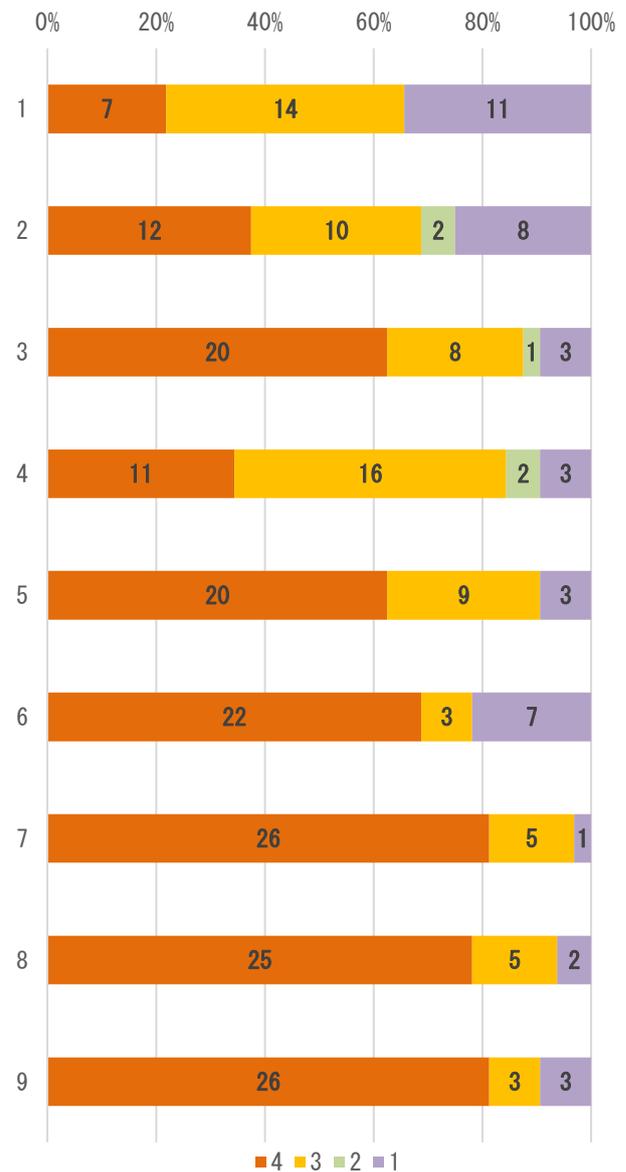
## II 子どもの保育に関して

①登園時、担当する子ども一人一人の健康状態について十分に確認している。
②子ども一人一人の家庭環境や、発育・発達の状態について理解して接している。
③子どもの話によく耳を傾けるようにしている。
④子どもを尊重した、丁寧なわかりやすい言葉遣いを心掛けている。
⑤どの子どもにも感情のむらなく平等に関わるよう心掛けている。
⑥制止やせかす言葉を不必要に使わず、一人一人に合わせた対応を心掛けている。
⑦子どもをほめたり、励ましたり、子ども自身が意欲を持てるような言葉かけを心掛けている。
⑧子どもとの温かなやりとりや適度なスキンシップを心掛けている。
⑨子どもの言葉にならない思いやサインなどの心の動きを理解するように心掛けている。
⑩子どもとよく遊んでいる。
⑪子どもが遊びを深めていけるようなヒントやアイデアを提供するよう心掛けている。
⑫子ども同士の関係にも配慮して保育を行っている。
⑬保育者自身が、保育の中で神様への感謝の気持ちを持ち、それを言葉や態度で表現するよう心掛けている。



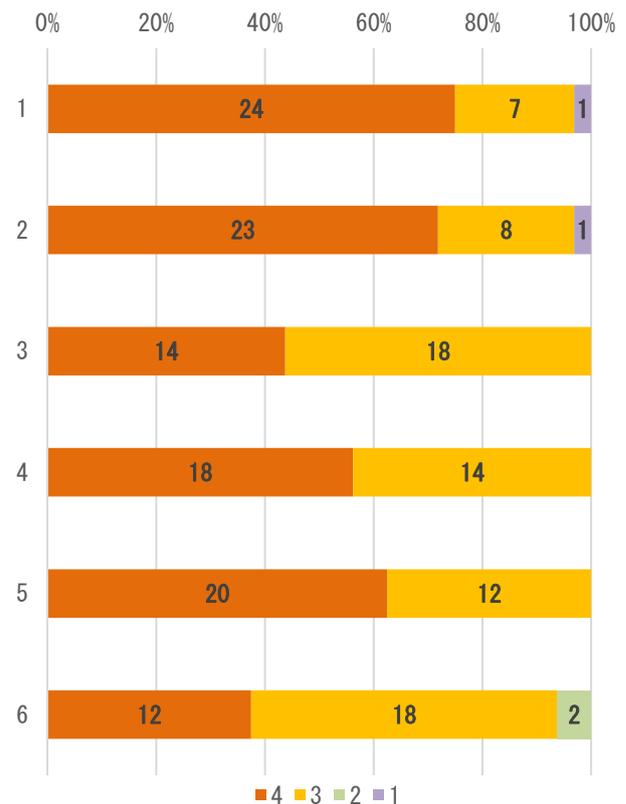
### Ⅲ 保護者への対応に関して

①子どもの様子について、直接話をしたり、電話・連絡帳などを使って保護者と情報を共有している。
②保護者から説明された各家庭での養育方針などに留意した保育を心掛けている。
③どの保護者にも平等に関わり、友だち同士のような態度で接していない。
④保護者が保育者との関わりを楽しみにできるような信頼関係づくりを心掛けている。
⑤保護者からの依頼や伝言については、記録を残し、抜けのない配慮をしている。
⑥保護者から苦情等があった場合は、よく話を聞いたうえで、上司に報告、相談をし、丁寧に対応している。
⑦教職員や園の批判を軽はずみにしたり、他の園児や家庭の個人情報を他言したりしていない。
⑧家庭環境や問題について知り得た重要な情報は、むやみに他言せず、上司に報告している。
⑨保護者からの要望、意見等について、安易に引き受けたり断ったり無視したりせず、上司に報告、相談をしている。



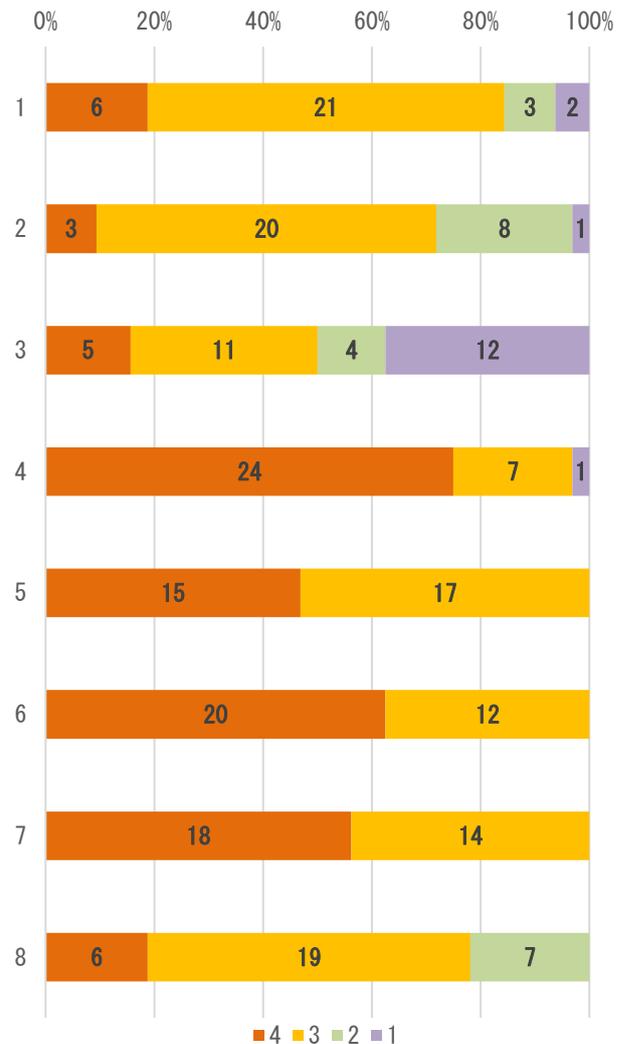
### Ⅳ 同僚・上司とのコミュニケーション等に関して

①子どもの情報について、保育者間で共有すべきことは同僚・上司に適切に報告している。
②同僚から保育について相談を受けた時、誠意をもって耳を傾けるよう心掛けている。
③同世代だけでなく、年齢の違う同僚にも相談できる良好な関係を築いている。
④上司や同僚の助言を受け入れ、自分の考えや行動を見直すことができる。
⑤先輩、後輩等にかかわらず、誰にでも平等に尊重する関わり方をするように心掛けている。
⑥自分の考えや思いを上司や同僚に対して伝えている。



V 能力向上の努力に関して

①年度ごとに自己評価をし、自分なりの目標や課題を持って保育に臨んでいる。
②保育・教育に関する新しい取り組みや考え方について、情報を得ようと日頃から努力し、創意工夫に努めている。
③研修や研究会には自分なりの課題をもって参加している。
④保育者の言動が子どもに影響を与えることを自覚している。
⑤職場では正しく丁寧な言葉遣いを心掛けている。
⑥園生活全般における危険性を認識し、事故等の未然防止に日頃から努めている。
⑦服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心掛け、安全性にも気をつけている。
⑧回覧される月刊誌『キリスト教保育』や保育の参考文献を読み、自身の保育への参考を得るよう心掛けている。



【自由記述欄】

以下の設問に対し、32名が回答を記載した。

1. 保育に関する自分自身の目標や課題が今年度どれくらい達成できたか、ご自分の考えをお書きください。
2. このアンケートに関する意見、園の保育や運営に関する意見などがあればお書きください。
3. その他

重複する内容や個人が特定され得る内容、謝辞や個人的な感想等は省略し、長いコメントは要約または一部抜粋したうえで以下に転載した。

1. 保育に関する自分自身の目標や課題が今年度どれくらい達成できたか

- ・今年度は子どもたちの自信につながるようなプラスの言葉かけをたくさんすることを意識し保育をしてきた。今年度のクラスの子ども達は、自信があまりない子や繊細な子が多かったのでより意識して関わらないと不安定になりがちだったこともあり、例年より丁寧に時間をかけて関わったり声掛けしたりすることができた。
- ・子どもたちの声に耳を傾けて、子どもたち自身で考えたことを実現できるように援助した。それが形になった経験があり、とても良かった。子どもたちから達成感を感じ取れた。だが、朝の遊びが充実しなかったことが反省である。日々のちょっとした「つぶやき」に耳を傾けていきたい。
- ・周りの先生方と話し合いながら、自分なりに目標を立て、一つ一つ達成していくことができた。考え

が凝り固まらないように気をつけながら今後も保育していきたい。

- ・自分なりに子どもたちとたくさん遊び、たくさん関わり、年齢に合う援助ができた。
- ・こうあるべきだという考えに囚われず、目の前の子どもたちの現状をよく観察・把握し、必要な援助ができるように心掛けたので8割くらいの目標は達成できた。
- ・子どもたちが「毎日園生活が楽しい」「また行きたい」と思えるような保育を、先生方と一緒に考えながら取り組んでこられた。また、毎日怪我なく安全に過ごせるように努めた。
- ・在籍する子どもたちに合った保育内容を考えていくことや、保護者とのより良い関わりを意識しながら過ごしてきた。保育内容は、先生たちとよく相談しながら進めてこられた。
- ・イヤイヤ期、自己主張が日々強くなる年齢のクラスを担当しているため、一人一人の思いに寄り添い、個々の対応を常に心掛けて関わることを大切にしてきた。時には思うように子どもに響かないもどかしさを感じながらも、気持ちを切り替え、いつかは子どもたちに伝わると信じて関わってきた。少しずつ子どもの成長を感じることが増えているので、課題は徐々に達成しつつある。
- ・保育者同士の信頼関係をしっかりと築いていけるよう、こまめなコミュニケーションを心掛け、言葉選びや表情に気をつけて関わることもできた。
- ・不適切保育の研修等を通して、保育の見直しや考え方を保育者間で考える機会を意識できたことは良かった。
- ・考えや思いがあっても、実際に行動に移せないことが多かった（特に視覚教材や朝の遊びなどの作り物）。
- ・今年度は研修会に参加し、普段から気になっていた問題等を再確認することができ、とても勉強になった。

## 2. このアンケートに関する意見、園の保育や運営に関する意見など

- ・このアンケートがあることで自分自身の保育の見直し、園のいろいろなことを考える機会になり、とても良い。
- ・アンケートを通して、必要な視点を再確認するとともに、自身の保育を振り返り、足りない部分に気づかされた。
- ・3人体制を経験し、副担当の先生のありがたさを感じた。しかし、3人体制でも一人一人の仕事量の負担が大きいとも感じている。特に行事の作り物がある時などは、園全体で協力していけると良い。
- ・保育に新しい風を吹かせてほしい。若い先生の感性を発揮させる試みがあっても良いのではないかと。例えばうんどう会の体操や、ダンスの曲など新しいことに挑戦してほしい。
- ・園専用のタブレットを用意し、ポートフォリオを載せたり、連絡帳のようなイメージで忙しい時にも保護者とメールなどで会話できるようなツールを導入した方がいいのではないかと。
- ・もっと一人一人が有給休暇を取りやすい環境になってほしい。
- ・学年担当の人数を増やし、助け合いながら保育をし、みんなが休みを取りやすい環境になってほしい。

## 3. その他

- ・3歳以上児のままごと道具（食べ物、洗濯機、レンジ、冷蔵庫等）はクラス保管のものがあると良い。既成の玩具を増やしてほしい。
- ・3歳未満児と3歳以上児の担当者間でお互いの動きが全くわからない時がある。もっといろいろな部分で情報共有できれば余裕を持った保育体制が整うと思う。
- ・2歳児クラスの人数を増やしていくと人数に比例して保育の難しさを感じる。2クラスにするなど、今後の工夫が必要ではないかと。

- ・共働きが主流となる時代となり、保護者の園選びに“利便性”も重要視されているように感じる。園が大切にしている部分を残しつつ、今の時代に合わせた見直しもしていけたら良い。
- ・連絡帳のアプリ管理化やポートフォリオの作成方法（スマホ形式）など、保護者も保育者も負担なく使いやすいものがあると良い。

## 園長所見

アンケートを実施した対象人数は32名である。あくまでも「自己評価」であり、一人一人の教職員が各項目に関する評価を主観的に判断した数値の集計である。

昨年は、5「できている」4「だいたいできている」3「あまりできていない」2「できていない」1「設問の内容が自分に該当しない」の1～5で評価したが、今年度は、昨年度の3「あまりできていない」2「できていない」をまとめて、2.「努力が必要」にまとめ、1～4の評点とした。

自分の評価を肯定的にみることで客観的に自分の努力すべき点が見えたように思う。以下、特徴的な事、留意すべきこと等、園長の所見を述べる。

### I 園の教育保育理念・基本方針に関して

園全体の教育保育理念や基本方針の理解については、ほとんどの項目において90%以上が「できている」「だいたいできている」であった。このことから保育者全員が園の教育保育理念・基本方針を理解して保育にあたっていることが読みとれる。しかし、③「園の今年度教育の努力目標を理解している」④「自分が担当する年齢の年間指導計画を理解している」については、昨年度よりも「できている」が少なくなっている。常勤、非常勤を問わず、全員が共通理解できるような方法（掲示等）を取り入れる等、工夫していきたい。

### II 子どもの保育に関して

今年度は「努力が必要」＝「できていない」「あまりできていない」とされる項目が13項目中5項目となり、昨年度に比べ少なくなった。このことから自己評価では、保育者としての質が高いことが読みとれ、良い傾向である。

しかし、新たに加えた設問⑥「制止やせかす言葉を不必要に使わず、一人一人に合わせた対応を心掛けている」に関しては「できている」が少ない。今回のアンケートで自分の関わりを意識できたため、今後の保育に活かしていきたい。

「努力が必要」の回答が多かった②「子ども一人一人の家庭環境や、発育・発達の状態について理解して接している」においては、それぞれの立場で勤務時間が異なるため、保育者間での情報共有時間がとれていないことが読みとれた。必要な情報は、誰もが共有できるような方法を検討していきたい。

### III 保護者への対応に関して

昨年同様、全体的に「できている」項目が多くなっており、保護者との信頼関係を築くための努力が伺える。今年度は、新たに④「保護者が保育者との関わりを楽しみにできるような信頼関係づくりを心掛けている」を追加した。保護者との信頼関係を築くことは、子どものより良い成長につながるため、今後も保育者自ら心掛けてほしい項目である。

#### IV 同僚・上司とのコミュニケーション等に関して

6項目中5項目において「できている・だいたいできている」で100%を占めている。職場内のコミュニケーションが良くとれていることが理解できる。また、昨年度は、⑥「自分の考えや思いを上司や同僚に対して伝えている」が85%であったが、今年度は、95%に増加した。このことから職場内での対話ができていることが読みとれるが、「努力が必要」と答えた職員も2名いたため、2名の思いを汲み取る働きかけも試みながら働きやすい職場づくりを目指していきたい。

#### V 能力向上の努力に関して

概ね昨年度と同様の結果である。長期的な目標を持ち、自分自身の保育の質を高めるための努力項目①「年度ごとに自己評価をし、自分なりの目標や課題を持って保育に臨んでいる」、②「保育・教育に関する新しい取り組みや考え方について、情報を得ようと日頃から努力し、創意工夫に努めている」、③「研修や研究会には自分なりの課題を持って参加している」等においては、「できている」が20%以下である。煩雑な業務の中ではあるが、保育者たちが自分の保育を見つめ直し、能力向上の意欲につながるような機会や時間のゆとりを確保していきたい。

#### 【自由記述】

今年度のアンケート自由記述欄には、ほとんどの保育者が、それぞれの思いを記載してくれた。一人一人、自分の目標を持って、目の前の子どものために一生懸命、努力した言葉が記載され、園長としてとても嬉しい思いであった。さらに、みらい園の教育保育をより良くするためにはどのような方法があるのか、常勤、非常勤、経験年数に関係なく、それぞれの立場で反省や課題を提示してくれたことは、貴重であった。今後は、今以上に業務の効率化を図るための様々な手立て、時代に即したICTの導入等を検討していきたい。

このアンケート結果の主な部分をホームページで公開するとともに、結果を園内においても共有し、話し合いながら環境の改善に役立てていきたい。